



慶應義塾大学ビジネス・スクール

株式会社 東武鉄道

5

2012年5月22日、東武鉄道は電波塔である東京スカイツリーを開業した。東武鉄道という鉄道会社が東京スカイツリーを含むスカイツリータウンの建設という新しいプロジェクトに約1,400億円の巨額投資を行った。東武鉄道は、関東で運営する鉄道会社のなかでもその財務的状態は相対的に劣っていると見られていた。しかも、関東地域において鉄道事業の将来性については必ずしも明るい展望が開

けているわけでもなかった。そのような状況のなかで、東武鉄道は、東京スカイツリー・プロジェクトに巨額投資を行うことによって、その会社としての株主資本価値を高めるべく対策を練っていた。

10

東武鉄道の沿革

15

東武鉄道の創設

1897年11月1日、総武鉄道の本間英一郎氏、東京海上火災及び山陽鉄道の末延道成氏らが東武鉄道（資本金265万円）を創設した。東武鉄道は日本鉄道、両毛鉄道の路線がカバーしていなかった草加、越谷、春日部などの埼玉県東部、館林、機織地の足利などの北関東各地を東京と結ぶこと

を目的としていた。しかし、工事は埼玉県と群馬県との境の利根川南岸まで進んだところで建設が頓挫してしまった。それは建設費用に充てる借金が嵩んで金利負担が増大し、経営が悪化したためであった。

20

根津嘉一郎氏の株式投資と事業経営

25

一方、根津嘉一郎氏は1860年6月に山梨県東山梨郡平等村に生まれた。成人してからは山梨県平等村と上萬力村が結成した組合村の村長などを歴任するなど地方政界で活躍した。根津氏は村長

本ケースは、慶應義塾大学名誉教授 鈴木貞彦が、公表資料に基づいて作成したものである。本ケースは、経営の巧拙を例示することを目的としたものではない。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話045-564-2444、e-mail:case@kbs.keio.ac.jp）。また、注文は<http://www.kbs.keio.ac.jp/>へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。

30

Copyright© 鈴木貞彦（2012年10月作成）